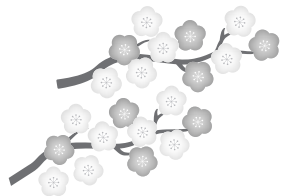


令和5年1月



# 給食だより

## 安全安心で魅力ある学校給食

千葉市【新港・こてはし・大宮】学校給食センター



寒さが一段と厳しくなりました。寒さに負けずに元気に乗り切るために、栄養のバランスがよい食事と十分な睡眠をとるようにしましょう。また、感染症予防のために、手洗い、うがい、マスクの着用を行い、健康管理に注意して過ごしましょう。

### 今月のめあて「学校給食について考えよう」

1月24日から30日は「全国学校給食週間」です。学校給食の歴史を知り、学校給食の意義や役割について考える一週間です。

### 学校給食の歴史

日本の学校給食は、明治22年(1889年)、山形県鶴岡町(現鶴岡市)で、生活が苦しい家庭の子どもに無償で昼食を用意したことが給食の起源とされています。その後、第二次世界大戦で一時中断しましたが、戦後の昭和21年(1946年)に再開されました。

千葉市内での戦後初めての学校給食は、昭和24年(1949年)12月に都小学校で開始されました。昭和42年(1967年)4月には「千葉市学校給食センター」が開設され、中学校の給食も始まりました。

#### 日本で最初の給食



おにぎり、  
塩づけ、菜の漬物

### 学校給食の意義や役割～学校給食は「生きた教材」です～

学校給食の当初の目的は、子供たちを飢えから救い、栄養状態を改善することでした。現在の学校給食では、生涯にわたって健康な生活を送ることができるように、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための「教育活動」として行われています。また、学校給食を食べることを通して、各教科や総合的な学習の時間、特別活動で学んだ「食」に関連した学習を確認することにもなります。

「おいしかった」「苦手だった」という感想だけで終わらせることなく、食材の生産や流通に関わる人々の工夫や努力を知り、食材の産地を知る、郷土食や行事食を通して地域の文化や伝統に対する理解と知識を深めるなどの機会としましょう。

### 市内共通献立の取組について紹介します。～地場農産物の導入～

本市では、農政課やJAちばみらいと連携を図り、年間を通して市内産の野菜を給食に取り入れています。学校給食での取組を市のホームページに掲載していますので、右側のQRコードより、ぜひご覧ください。



#### 【学校給食週間】

(令和4年1月)

秋冬にんじん



#### 【食育の日】

(令和4年6月)

春夏にんじん



#### 【地場農産物】

(令和4年7月)

じゃがいも



#### 【千葉市民の日】

(令和4年10月)

こめ・にんじん・こまつな

